

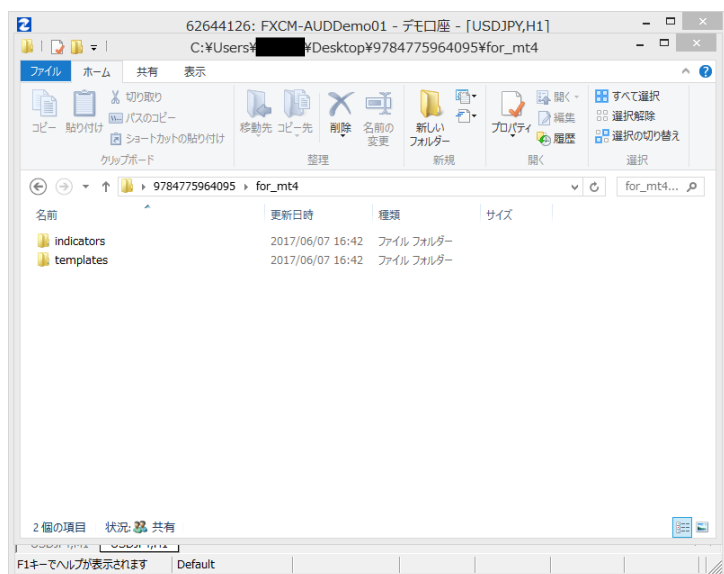
## 特典のインジケータ・テンプレートの導入手順

### - 目次 -

1. ダウンロードした圧縮 (zip) ファイルを解凍する。
2. tpl ファイルを移動する。
3. ex4 ファイルを移動する。
4. DLL ファイルの設定をする。

※本マニュアルは MetaTrader 4 Version:4.00 Build 1065 において動作確認済みです。

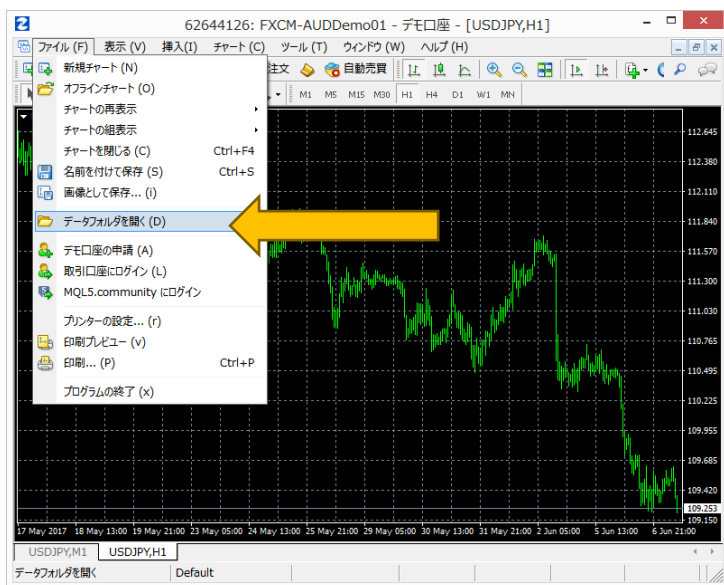
### 1. ダウンロードした圧縮 (zip) ファイルを解凍する。



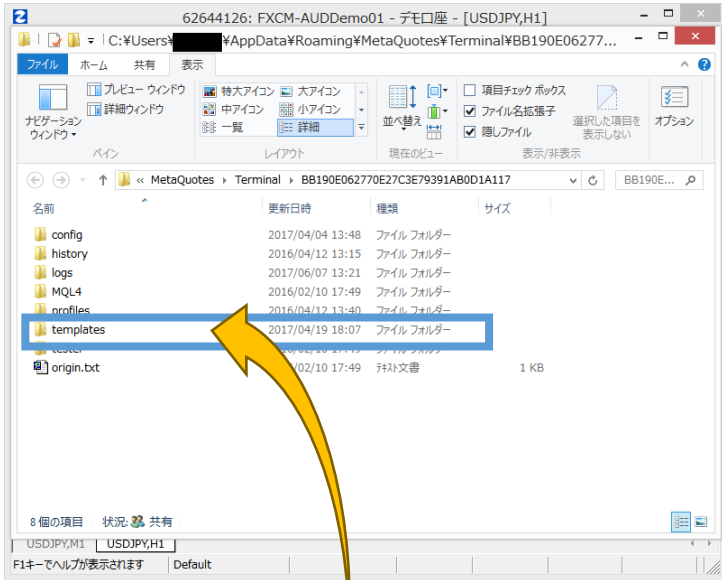
特典ファイルの「for\_mt4」フォルダを開くと、「indicators」フォルダと「templates」フォルダの2つがあります。

この画面を用意したまま、次の手順に移ります。

### 2. tpl ファイルを移動する。

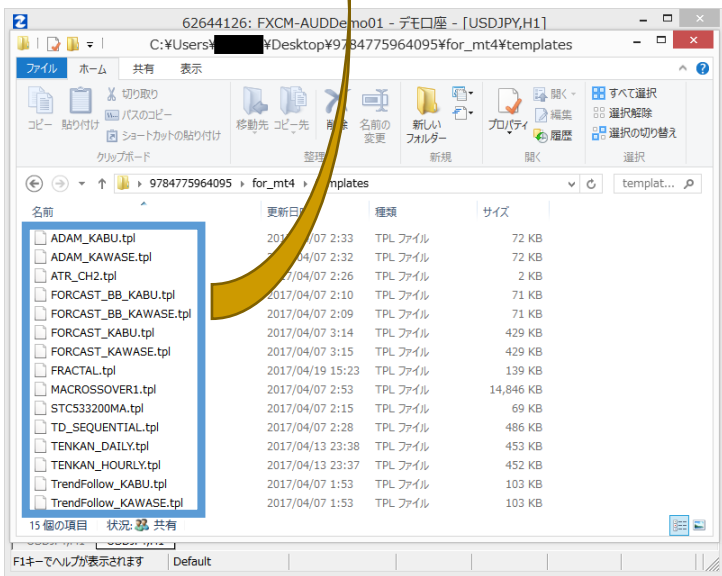


メタトレーダー4 (以下、MT4) を立ち上げます。ファイルメニューから「データフォルダを開く」を選択します。



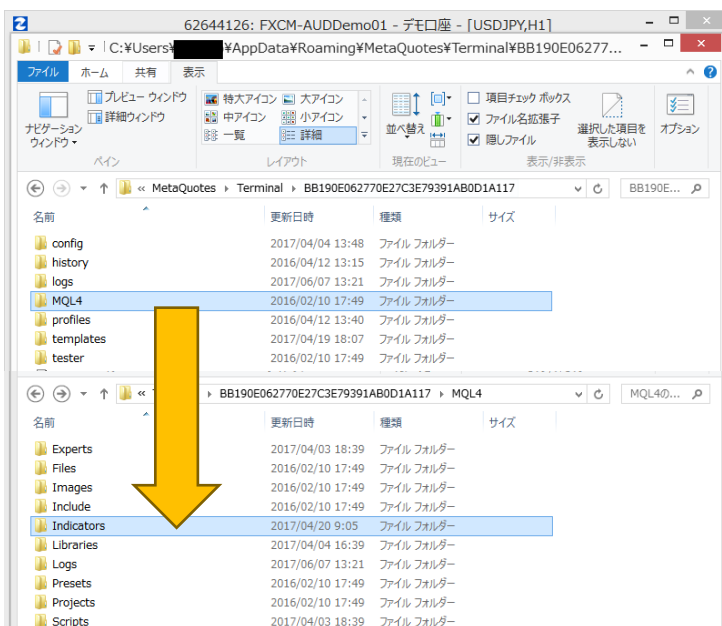
左図はデータフォルダの画面です。

この「templates」フォルダを開きます。

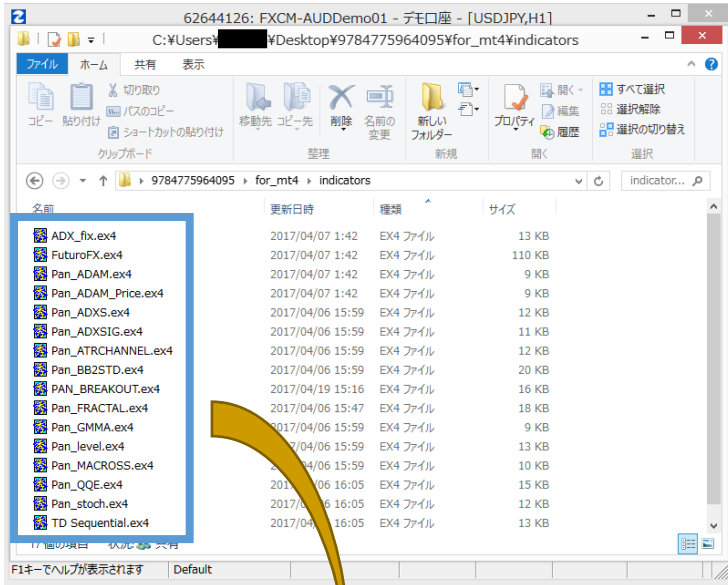


特典ファイルの「templates」フォルダのなかにある15個の tpl ファイルをコピーして、MT4のなかにある「templates」フォルダ内に貼りつけます。

### 3. ex4 ファイルを移動する。

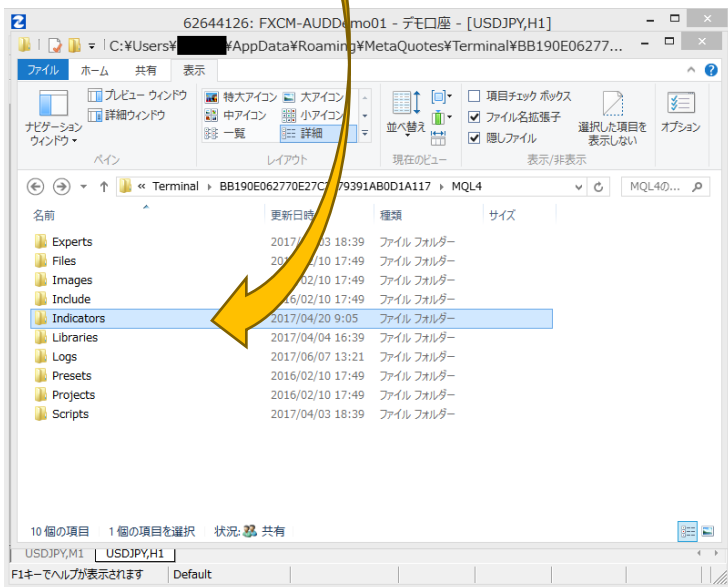


データフォルダの「templates」フォルダから1つ戻り、次は「MQL4」フォルダのなかの「Indicators」フォルダを開きます。

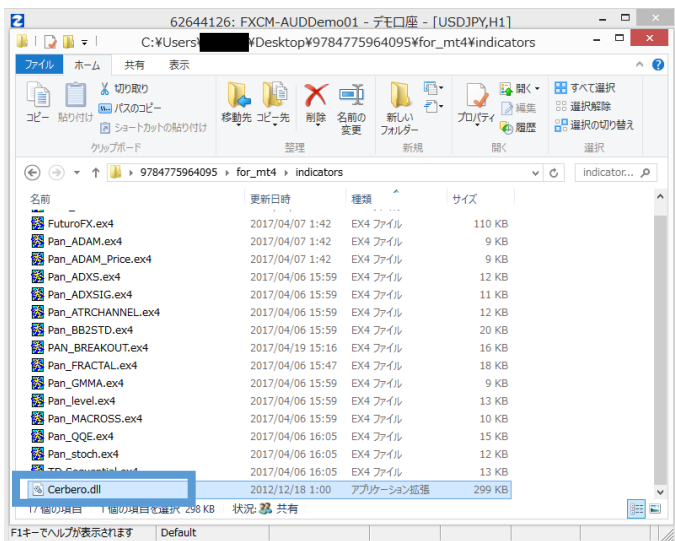


特典ファイルも、「templates」フォルダから1つ戻り、次は「indicators」フォルダへ移動します。

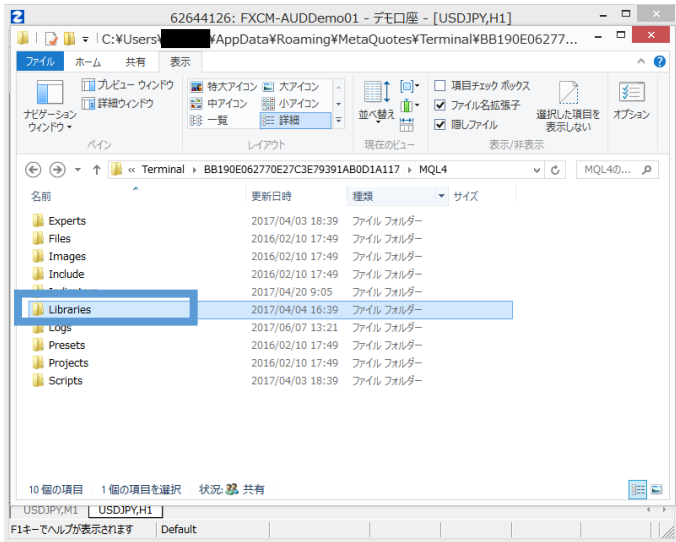
特典ファイルの「indicators」フォルダのなかにある16個の ex4 ファイルをコピーして、MT4のなかにある「Indicators」フォルダ内に貼りつけます。



#### 4. DLL ファイルの設定をする。

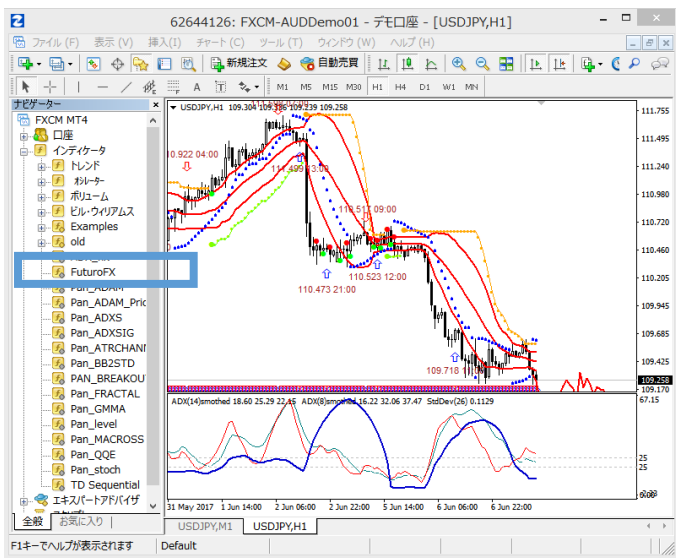


特典ファイルの「indicators」フォルダのなかにある「Gerbero.dll」をコピーします。



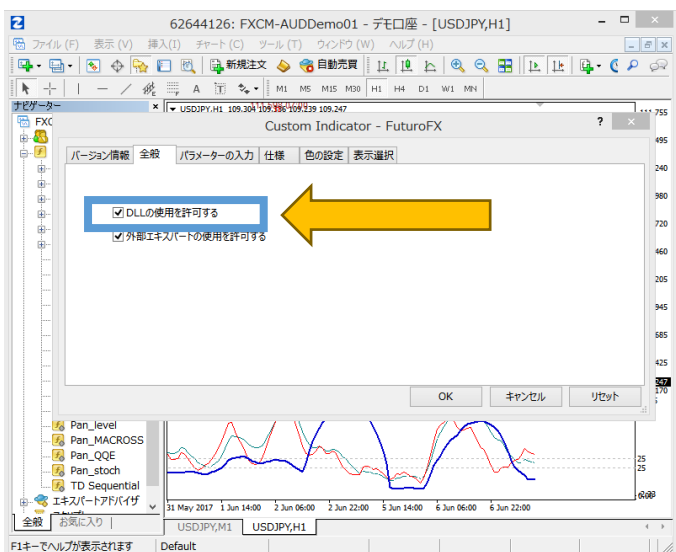
データフォルダの「Indicators」フォルダから1つ戻り、「Libraries」フォルダ内に「Gerbero.dll」を貼りつけます。

いったんデータフォルダウィンドウとMT4を終了し、もう一度MT4を立ち上げます。

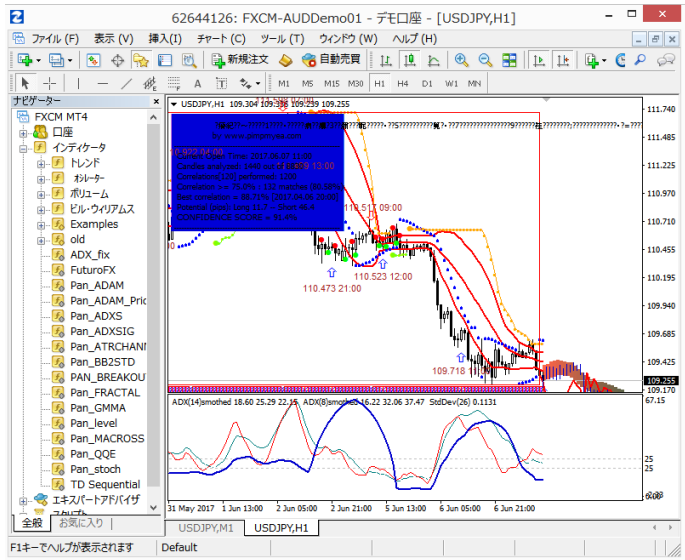


チャート上で右クリックして「定型チャート」から「Forecast\_KAWASE」を選択します。

未来予測が動作させるために、ナビゲーターウィンドウから「FuturoFX」をダブルクリックします。



「DLLの使用を許可する」を選択し、OKを押します。



念のため、チャート上で右クリックし「定形チャート」から「定形として保存」を選択し、上書き保存します。

以上で設定は完了です。

次回からは「定形チャート」から選択するだけでチャートが表示できます。